

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
この説明書は、必ず保管してください。

安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。
なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

警告	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
注意	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況 および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- 注意する
- してはいけない
- 必ず守る

■施工上のご注意

警告	
	接地端子を利用して、アース接続を確実に行ってください。感電の原因になります。
	電気工事（取付・施工）は有資格者が行ってください。故障・感電・けがの原因になります。
	電気工事は「電気設備技術基準」および「内線規程」を厳守してください。故障・感電・けがの原因になります。
<p>本製品を取り付けの際は、十分な強度のある壁面または水平面に対して、背面または底面をM8以上のねじで4か所以上確実に固定してください。キャビネットが落下し、機器の故障やけがの原因になります。</p> <p>キャビネットを加工して吊上げなどを行う場合は、集中的な荷重が加わらないように十分な補強を施してください。変形・破損・落下の原因になります。</p> <p>機器や配線がステーに触れないことを確認してください。故障・感電・けがの原因になります。ステーの可動範囲は4頁の「■ステー可動範囲」をご参照ください。</p>	

注意											
	本製品は屋内用です。屋外では使用できません。										
	本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。へこみや歪みが発生し、強度の低下の原因になります。										
	<p>本製品を扉が上開きになるように設置してください。故障や所定のIP性能が得られないなどの原因になります。</p>										
	<p>穴加工した部分は突起やバリをヤスリなどで確実に除去してください。けがの原因になります。また、穴加工した場合に取り付けるパーツはIP性能に合致したものを使用し、保護等級に応じた処置を行ってください。IP性能の保持ができなくなるおそれがあります。</p>										
<p>本製品を取り付け後、扉がゆっくりと閉まることを確認してください。閉まる速度が速い際は、ステーのダンパー強さを調節し、緩やかな速度にしてください。けがの原因になります。調節方法は3頁の「●扉の速度調節」をご参照ください。</p> <p>底面で固定する際は、水抜き穴栓を外してください。水平に設置ができず、製品の歪みの原因となります。</p> <p>使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下・導通が得られないなどの原因になります。また、締め付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルクN・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取付ねじM4</td> <td>1.5~2.4</td> </tr> <tr> <td>取付ねじM5</td> <td>2.0~2.5</td> </tr> <tr> <td>±3点セムス六角アースボルトM8×12</td> <td>5.5~7.0※</td> </tr> <tr> <td>フランジナットM8</td> <td>7.8~13.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ドライバー以外の工具で締め付けるねじは8.0~13.0N・m</p>		ねじの呼び	適正締付トルクN・m	取付ねじM4	1.5~2.4	取付ねじM5	2.0~2.5	±3点セムス六角アースボルトM8×12	5.5~7.0※	フランジナットM8	7.8~13.7
ねじの呼び	適正締付トルクN・m										
取付ねじM4	1.5~2.4										
取付ねじM5	2.0~2.5										
±3点セムス六角アースボルトM8×12	5.5~7.0※										
フランジナットM8	7.8~13.7										

■使用上のご注意

警告	
	<p>長期間の使用で取付部（ねじ、ナット）などの傷みやゆるみがないか、定期的に点検してください。傷みがある場合は交換し、ゆるみがある場合は適正締付トルクにて締め付けてください。破損・落下・所定のIP性能が得られないなどの原因になります。</p>

⚠ 注意



扉を開閉する際、ステーに手を触れないでください。手や指を挟み、けがの原因になります。扉表面を下に押し、扉の固定は解除されます。



ハンドルのシリンダーにキーを差した状態で、キーに強い衝撃や荷重を掛けないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。

次のような場所では使用しないでください。故障・けがの原因になります。

- ・使用温度範囲外となる場所
- ・腐食性ガスのある場所
- ・振動、衝撃のある場所
- ・可燃性ガスのある場所
- ・粉塵やオイルミストが多い場所
- ・ノイズ（電界、磁界）の強い場所
- ・導電性粉塵（カーボン繊維、金属粉など）のある場所
- ・有機溶剤のかかる場所
- ・塩分を多く含んだ場所

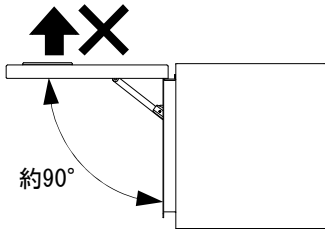
シリンダーの施錠・解錠位置以外では、キーを無理に引き抜かないでください。キー・シリンダーの破損の原因になります。

ハンドルの施錠・解錠する頻度が多い場合は、シリンダーに定期的に鍵用潤滑剤を塗布してください。キーの抜き差しが硬くなるおそれがあります。

扉に搭載する機器は、搭載可能質量を超えないようにしてください。また、荷重が扉の先端に集中するなど、重心が著しく偏らないように取り付けてください。ステーの破損やダンパー作用が低下し、けがの原因になります。



扉の開閉角度は約90°です。扉を開けた状態で下図の矢印方向にさらに荷重を掛けないでください。ステー部および扉の変形・破損の原因になります。



扉を約90°に開くと固定されます。両側にステーがある製品は、両側のステーを伸ばして扉を固定してください。片側のステーのみで固定すると、ステーの破損や扉が意図せず落下し、けがの原因になります。

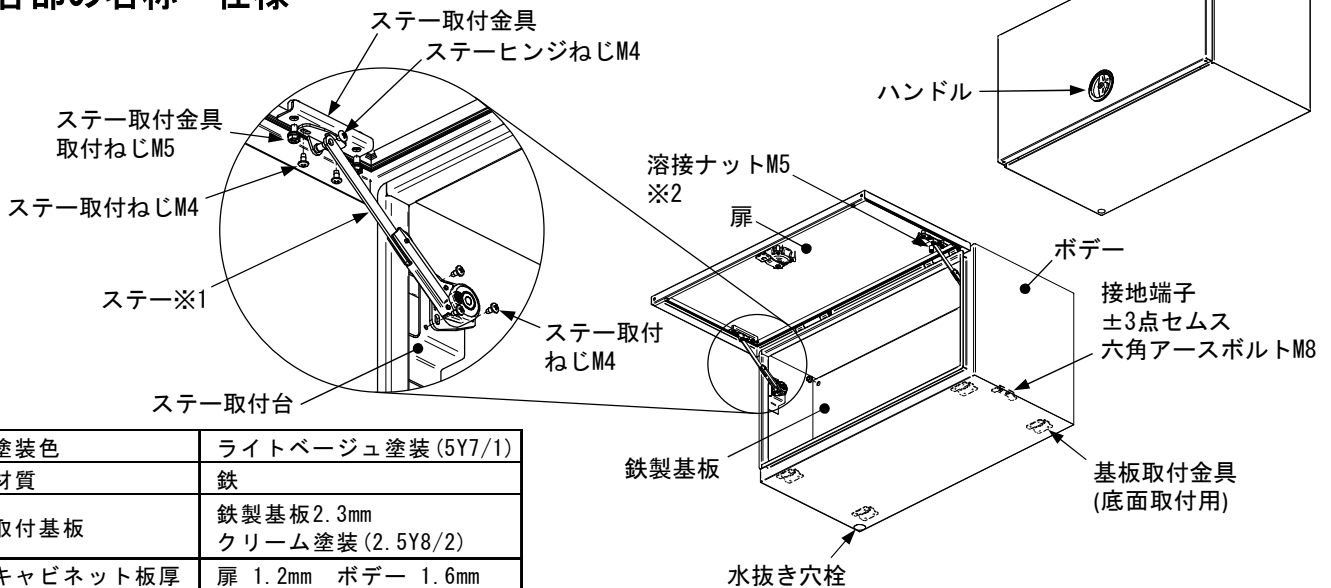
ダンパーが作用している間は扉を手で無理に押さないでください。ダンパーの性能低下により扉が速く閉まり、けがの原因になります。

ハンドルの開閉操作では確実に止まる位置まで操作してください。所定のIP性能が得られないことや、予期せぬ扉の開放により、けがの原因になります。

鉄製基板の汚れやケガキ線拭き取りのご注意

- ・汚れやケガキ線を拭き取る際は、やわらかい布で軽く拭いてください。
- ・汚れやケガキ線を拭き取る際は、目立たない場所で塗装面が痛まないことを確認してください。
- ・アルコールやベンジンなどの溶剤をご使用になると、塗装面が痛むおそれがあります。

■各部の名称・仕様



塗装色	ライトベージュ塗装 (5Y7/1)
材質	鉄
取付基板	鉄製基板2.3mm クリーム塗装 (2.5Y8/2)
キャビネット板厚	扉 1.2mm ボデー 1.6mm
ハンドル	丸型防水平面ハンドル
扉形式	片扉 (上開き)
保護等級	IP54 (カテゴリー2) ※3
使用温度	0~40℃

- ※1. ステーは、RAT30-63Y、35-735Yは右側のみ、RAT40-84Y、45-945Y、50-1045Yは左右に付きます。
- ※2. 溶接ナットM5はボデーとの導通などにご利用ください。
- ※3. 内部が負圧にならない状態で粉塵、水の侵入を評価しています。

●付属品

部品名	数量
キーセット (キーNo. 0200)	1コ
扉操作ラベル	1コ
取扱説明書 (本紙)	1部

■扉機器搭載可能質量

品名記号	搭載可能質量 [kg]
RAT30-63Y	1.5
RAT35-735Y	0.5
RAT40-84Y	2.5
RAT45-945Y	1.0
RAT50-1045Y	0.5

⚠ 注意



扉に搭載する機器は、搭載可能質量を超えないようにしてください。また、荷重が扉の先端に集中するなど、重心が著しく偏らないように取り付けてください。ステーの破損やダンパー作用が低下し、けがの原因になります。

■使用方法

●ハンドルの操作

- 扉を開ける際は、閉扉時の取手位置(図1)から右回りに90°回してください。
- 扉を閉める際は、開扉時の取手位置(図2)から左回りに90°回してください。

右回り

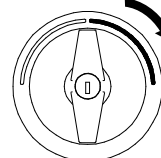


図1
閉扉時の取手位置

左回り

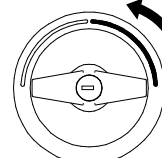


図2
開扉時の取手位置

●施錠方法

- 施錠は扉を閉めた状態でシリンダーにキーを挿し、右へ180°回してください。
- キーには挿入向きがありますので、鍵山を上にした状態で挿入してください。

●扉の開閉方法

扉を90°に開いてステーが伸びきると、扉が開いた状態で固定されます。固定状態の扉は閉じる方向に一定以上の荷重を加えることで、固定が解除されて扉が閉まり始めます。そのため、ステー自体には手を触れず、ステーが支持している扉表面を手で押し下げてください。(図3) ステーが右側のみに付いている製品は、右側のステー支持付近を押し下げてください。(図4) ステーが左右に付いている製品は、両手で左右均等にステー支持付近を押し下げてください。(図5)

ご注意

付属の扉操作ラベルは設置状況に応じて、開閉操作時に確認できる箇所へ貼り付けてください。

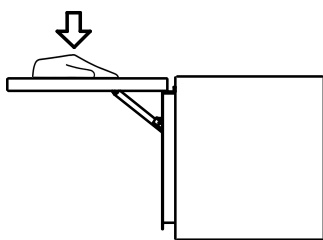


図3

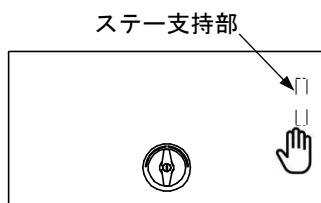


図4

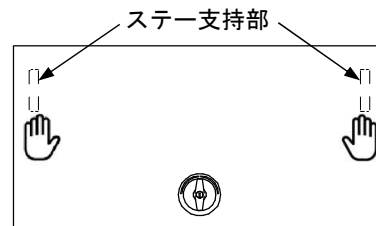


図5

⚠ 注意



指に注意

扉を開閉する際、ステーに手を触れないでください。手や指を挟み、けがの原因になります。扉表面を下に押し下ると、扉の固定は解除されます。



ダンパーが作用している間は扉を手で無理に押さないでください。ダンパーの性能低下により扉が速く閉まり、けがの原因になります。

●扉の速度調節

扉の閉まる速度はステー本体の速度調節ねじを回すことで調節可能です。周囲温度や扉の機器取付状態により、ステーのダンパー作用による扉が閉まる速度は変化しますので、必要に応じて調節してください。ステーが左右に取付いている製品は、左右のステーの調節ねじを同じ量だけ回してください。(図6)

ご注意

速度調節ねじは、限度以上に回さないでください。速度調節に使用するドライバーは、プラス形状でφ5以下のものをご使用ください。

速くなる (逆時計回り) 遅くなる (時計回り)

速度調節ねじ

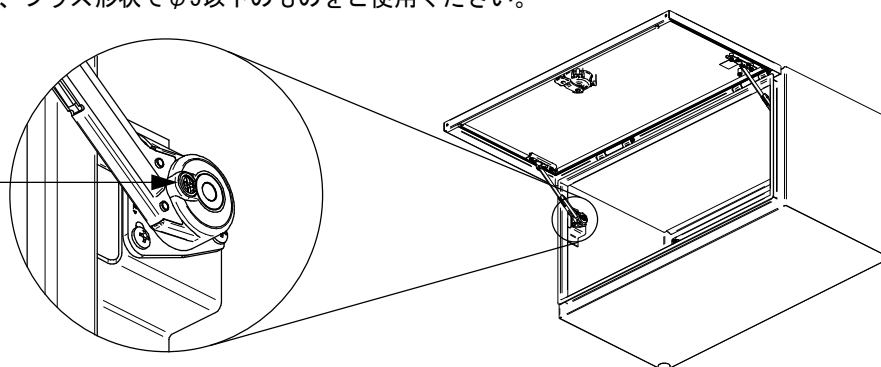


図6

■ 取付方法

キャビネットを設置する際は、ボデー背面、もしくはボデー底面に穴加工した後に取り付けてください。(図7、8)

【ご注意】

鉄製基板や基板取付金具を避けた位置に穴加工してください。

【取付穴加工推奨位置】

(単位：mm)

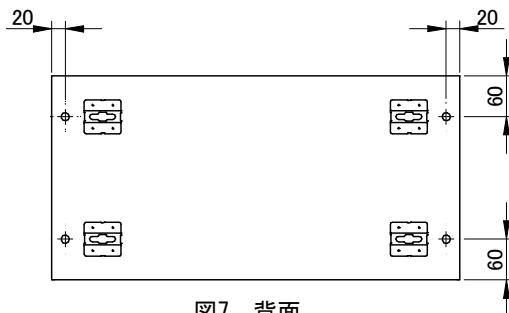


図7 背面

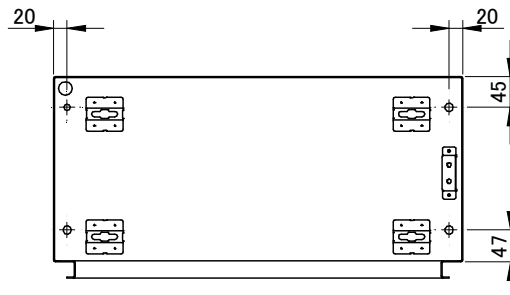


図8 底面

■ 基板取付方法

出荷時、鉄製基板は背面に取り付けてあります。

底面に取り付ける際には背面の鉄製基板と取付部材を取り外し、下図を参照し背面と同様に取り付けて下さい。(図9、10)

【対象機種：RAT30-63Y、35-735Y、40-84Y、45-945Y】

1. 基板取付金具に六角ボルトM8×22をセットし、ボルトサポータM8をはめてください。
2. 鉄製基板をセットし、フランジナットM8で固定してください。

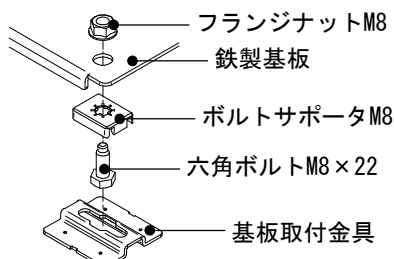


図9

【対象機種：RAT50-1045Y】

1. 基板取付金具に六角ボルトM8×28をセットし、フランジナットM8で固定してください。
2. 鉄製基板をセットし、フランジナットM8で固定してください。

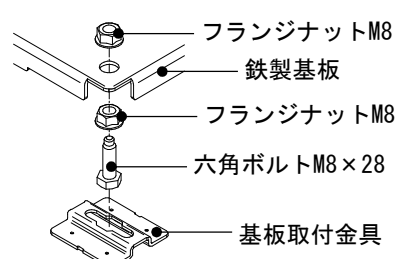


図10

⚠ 注意



使用するねじなどは指定されたものを使用してください。取付けの際は、適正締付トルクにて締付けてください。締付けが不十分な場合、破損・落下・所定のIP性能が得られないなどの原因になります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルクN・m
フランジナットM8	7.8~13.7

■ ステー可動範囲

ステーは下図に示す範囲で稼働しますので、機器収納や配線の際にはご注意ください。(図11)
※左側も同様の寸法となります。

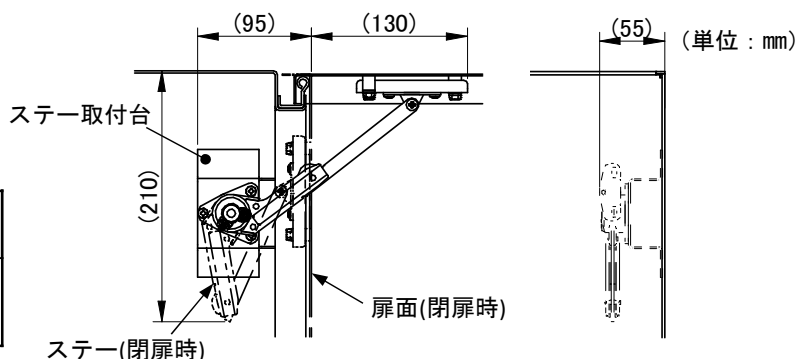


図11

⚠ 警告



機器や配線がステーに触れないことを確認してください。故障・感電・けがの原因になります。

お問合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談センターにお問合わせください。

TEL (0561) 64-0152

〈受付時間〉9：00～12：00、13：00～17：00 (土・日・祝日は休み)

- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、商品の修理やご相談への対応、および情報の提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、グループ各社と共同で利用させていただく場合があります。
- ・個人情報はあらかじめ本人の同意を得ないで、第三者に提供することはいたしません。

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。

2026年3月
B863585921

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION